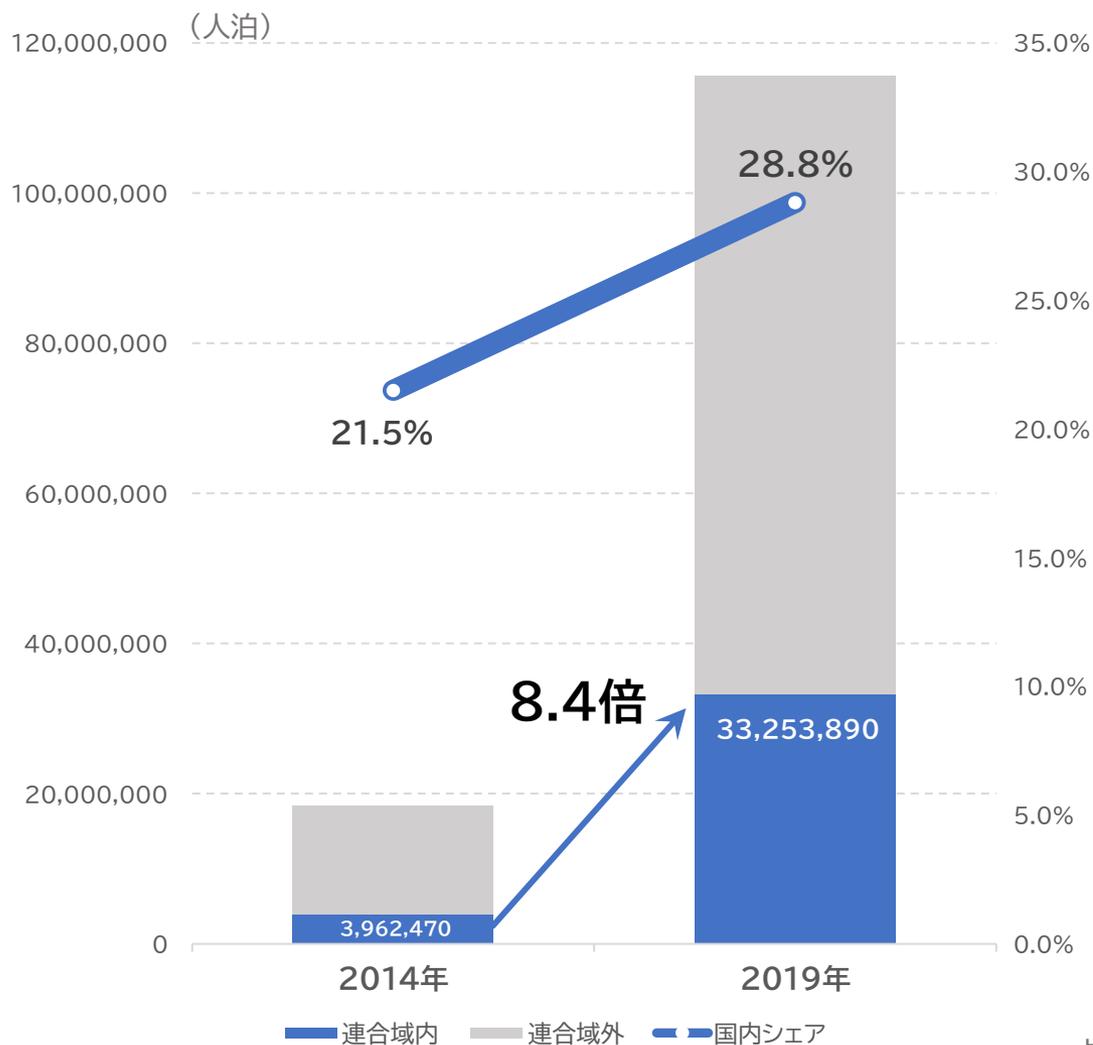


# 【Appendix】

関連資料・データ

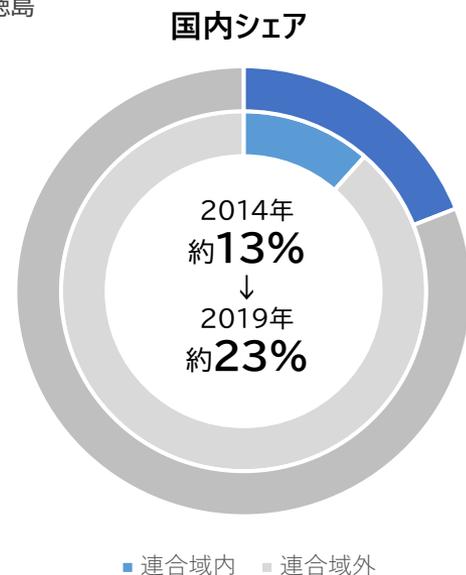
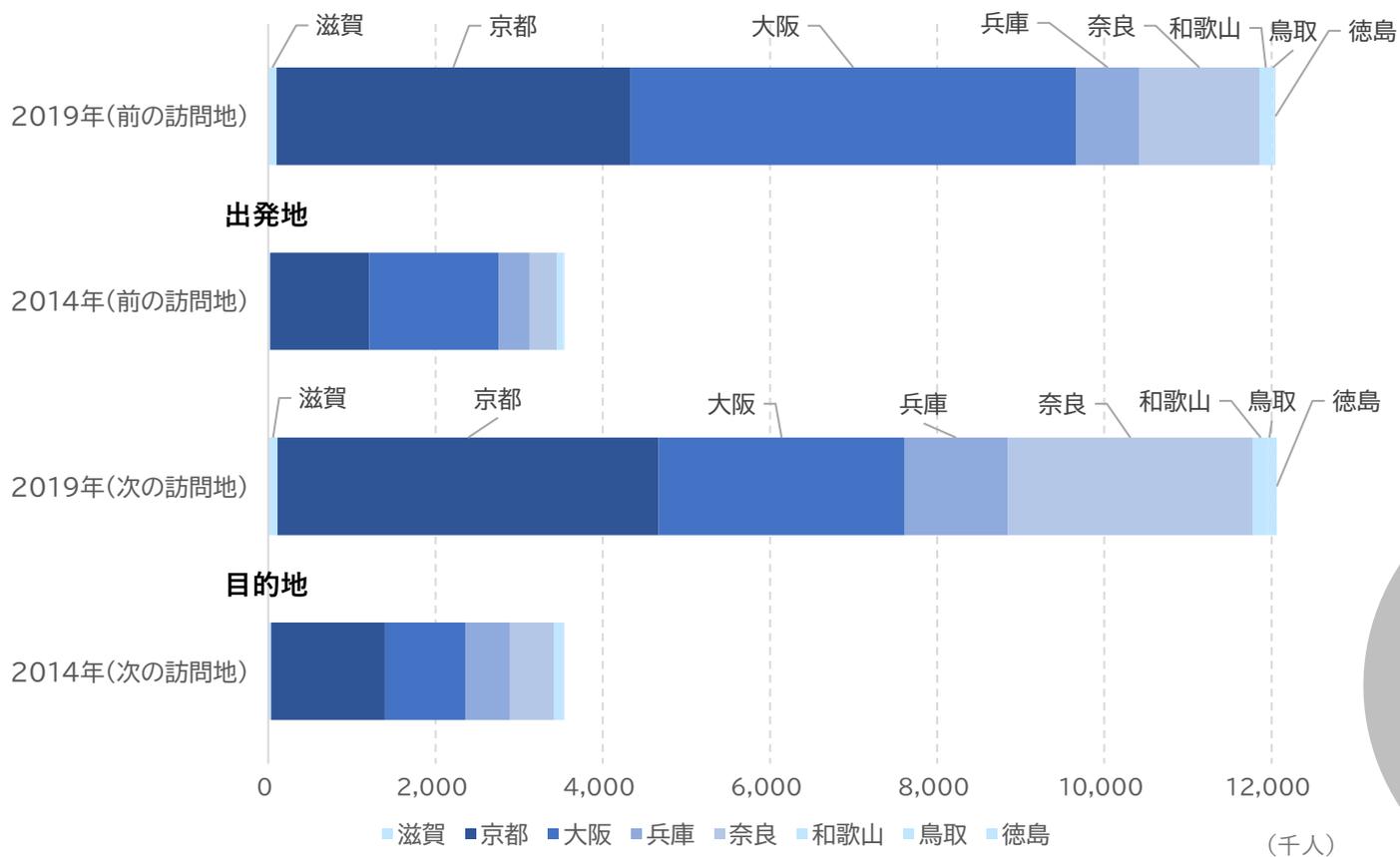
## Figure-① インバウンド（訪日外国人人数）

2011年以降コロナ禍までの約10年間、インバウンドは堅調に増加。国全体で増加する中で、関西への来訪者数は、総数（8倍強）、国内シェア（約2割から約3割へ）ともに飛躍的に拡大



## Figure-② インバウンド（訪日外国人）流動総数

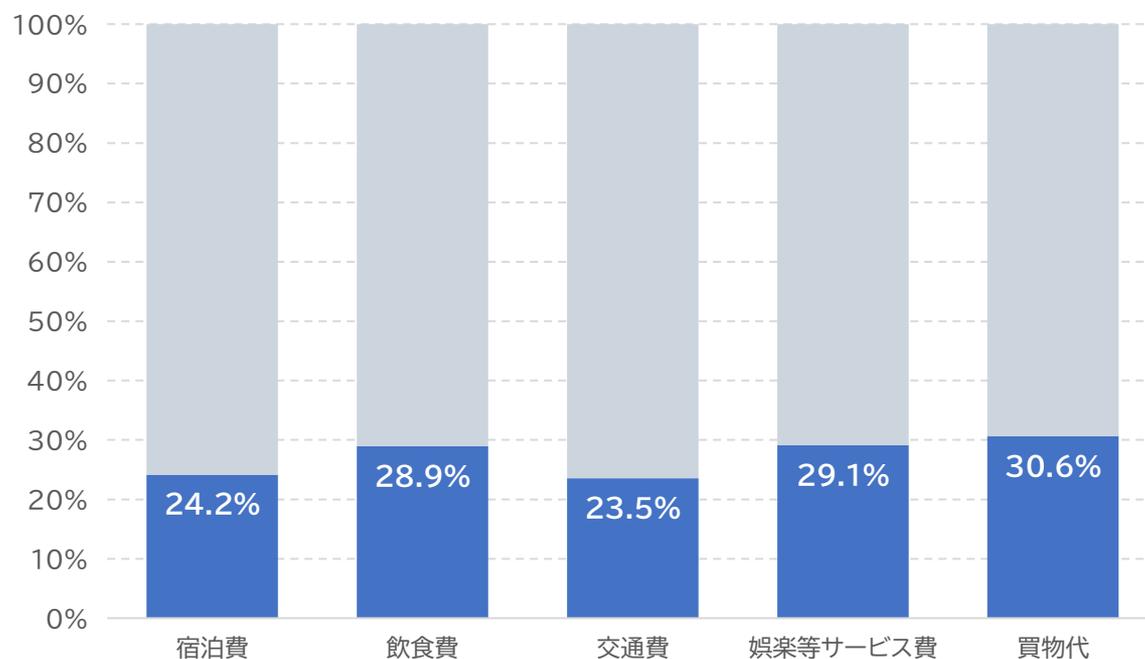
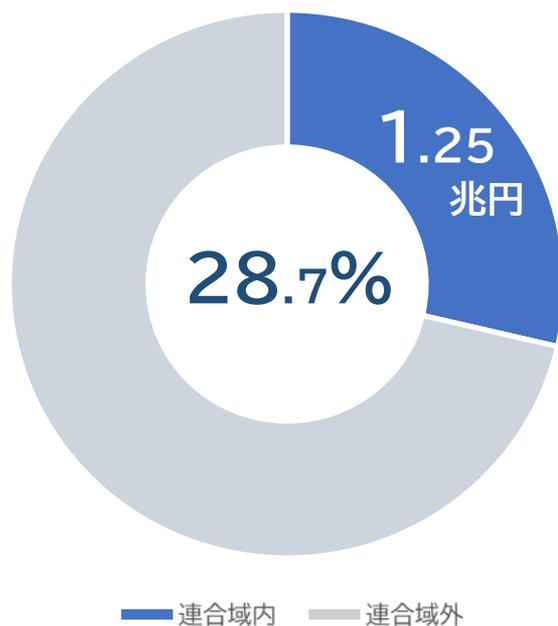
広域連合構成府県間の移動（2014年～2019年）は、全体として増加（総数3.4倍、国内シェア10ポイントアップ）し、域内での波及も増大



## Figure-③ インバウンド（訪日外国人）旅行消費額

2019年の域内の旅行消費額は1.25兆円で、全国シェア28.7%

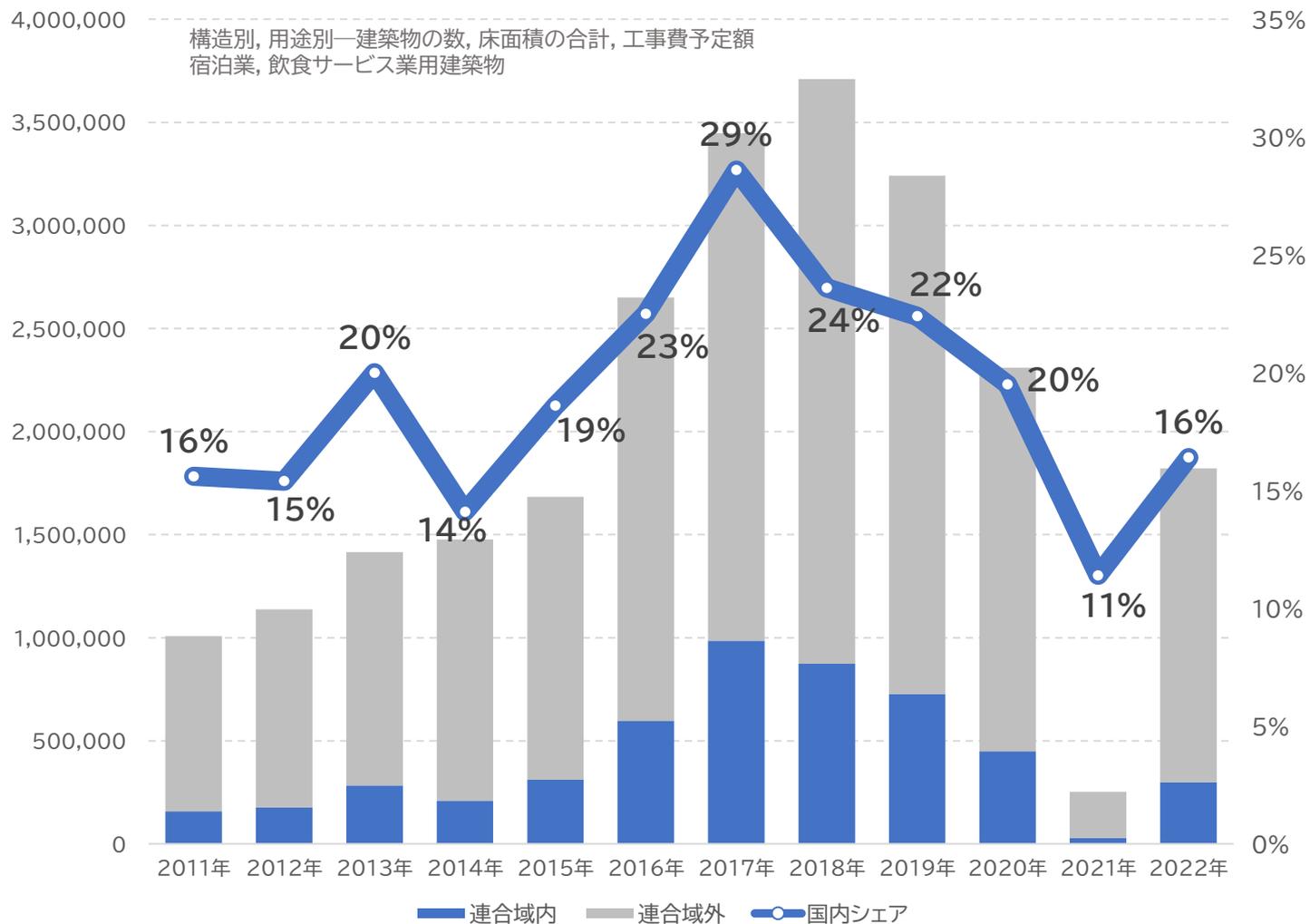
旅行消費額(2019年)



## Figure-④a 宿泊業・飲食サービス業 建築投資

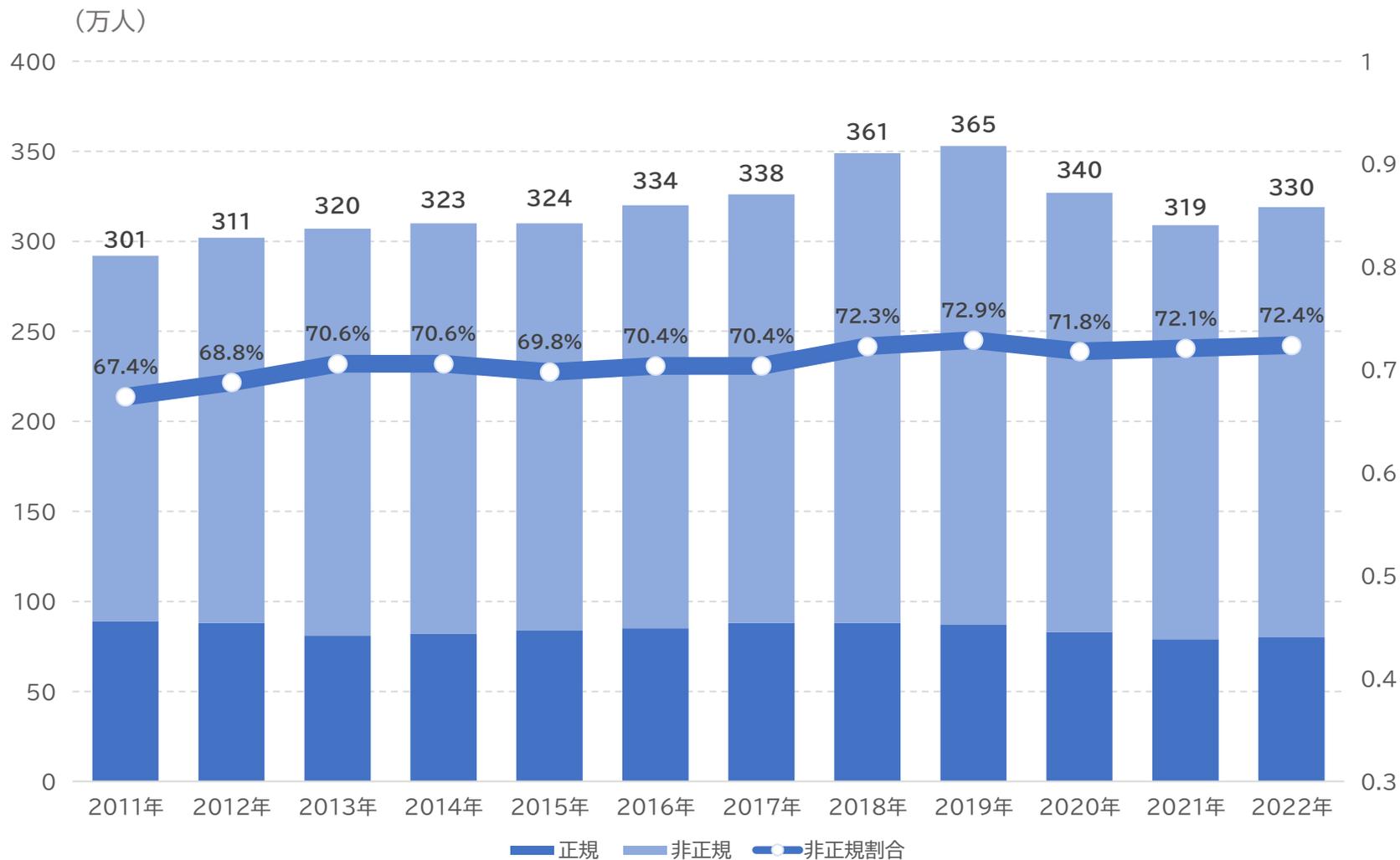
宿泊業・飲食サービス業は、インバウンドの勢いとも連動して、建築物への投資、雇用者数も、コロナ禍までは堅調に増加

床面積の合計(m<sup>2</sup>)



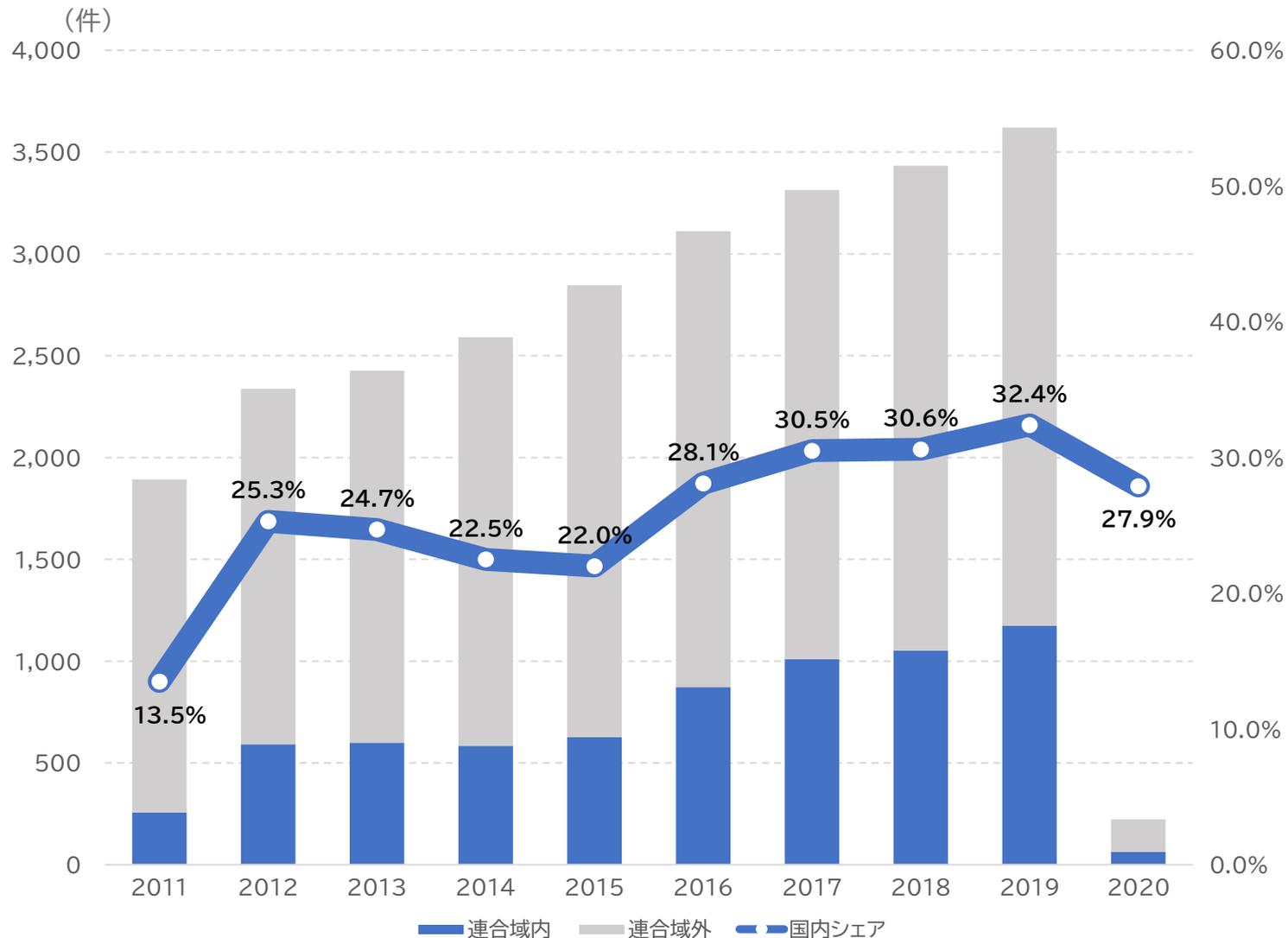
## Figure-④b 宿泊業・飲食サービス業 雇用者数

宿泊業・飲食サービス業は、インバウンドの勢いとも連動して、建築物への投資、雇用者数も、コロナ禍までは堅調に増加



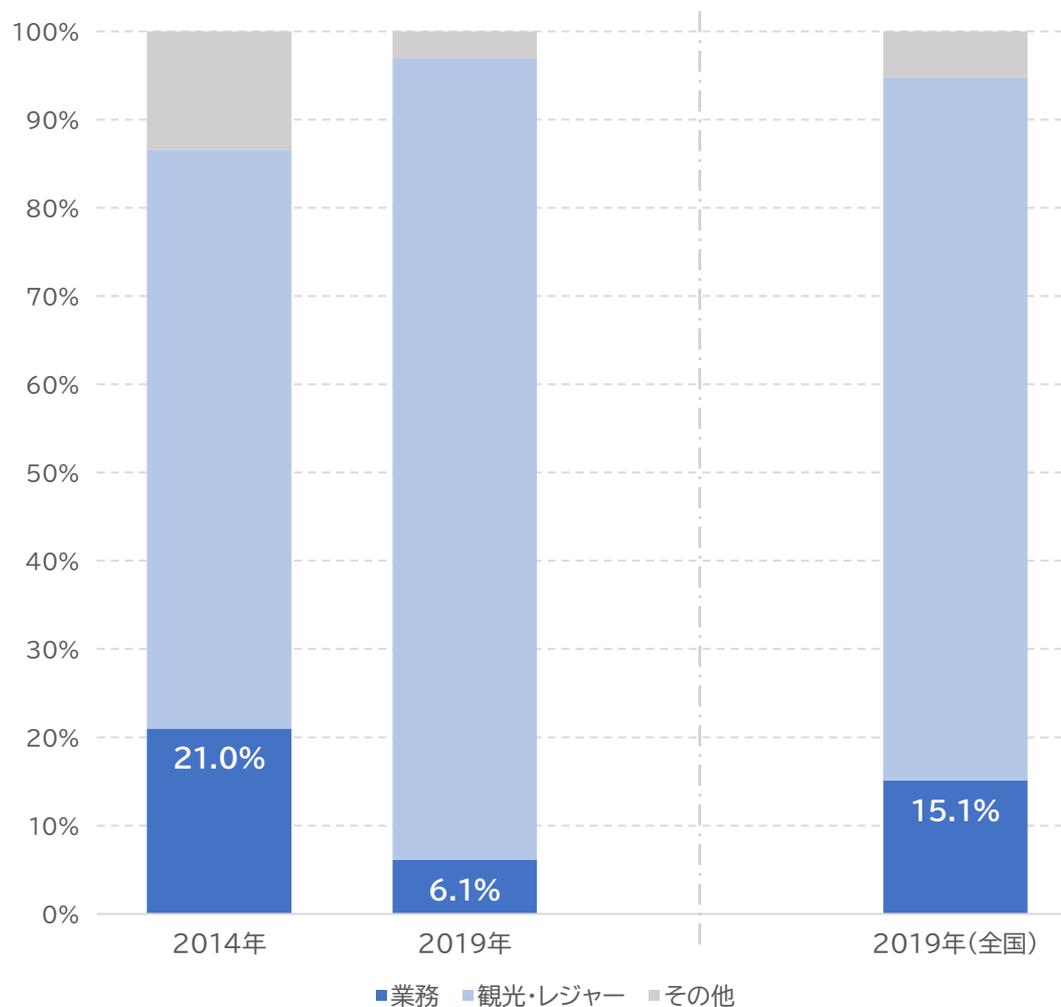
## Figure-⑥ 国際会議

国際会議の誘致・開催は、2015年以降2019年まで増加。この間、国内シェアは、10ポイント向上（22%から32.4%）



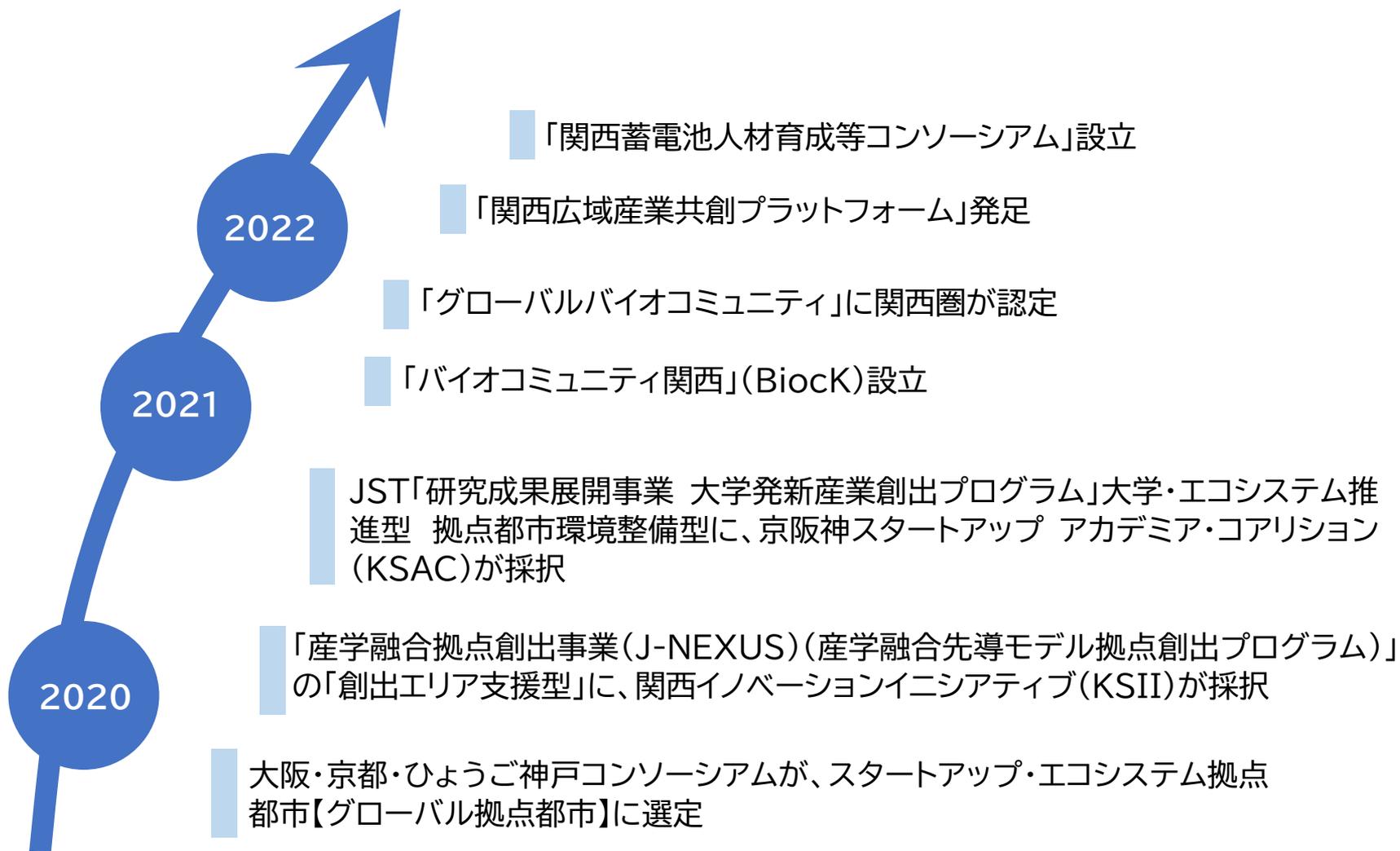
## Figure-⑦ インバウンド（訪日外国人） 主な来訪目的

ビジネス目的のインバウンドの割合は、全国水準を下回る（2019年）



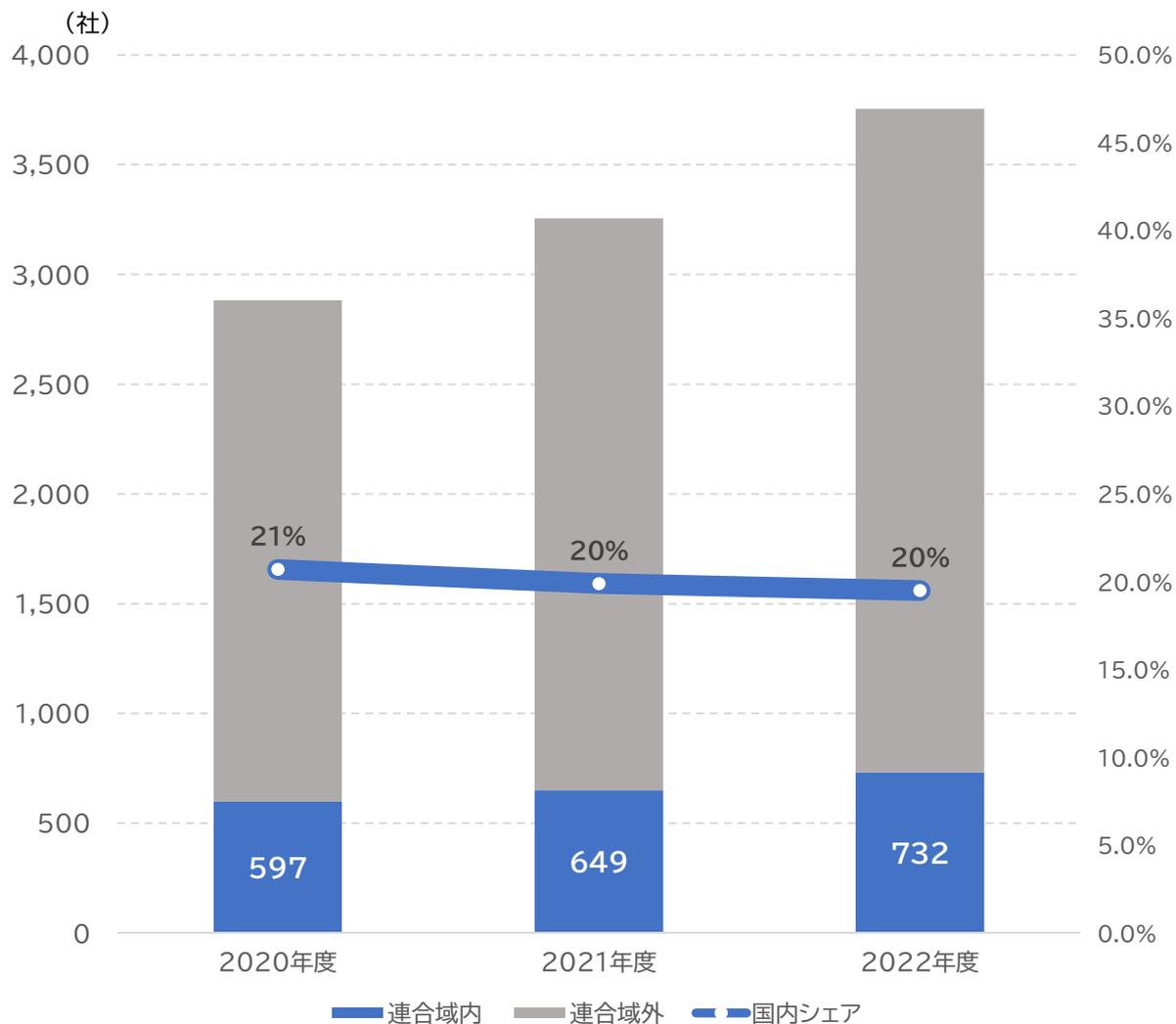
## Figure-⑧ イノベーション

事業のネットワーク化などを通じた、関西の魅力の磨上げ、発信、交流促進により、リソースの集積、イノベーション創出をめざす動きが近年加速



## Figure-⑨ スタートアップ（大学発ベンチャー数）

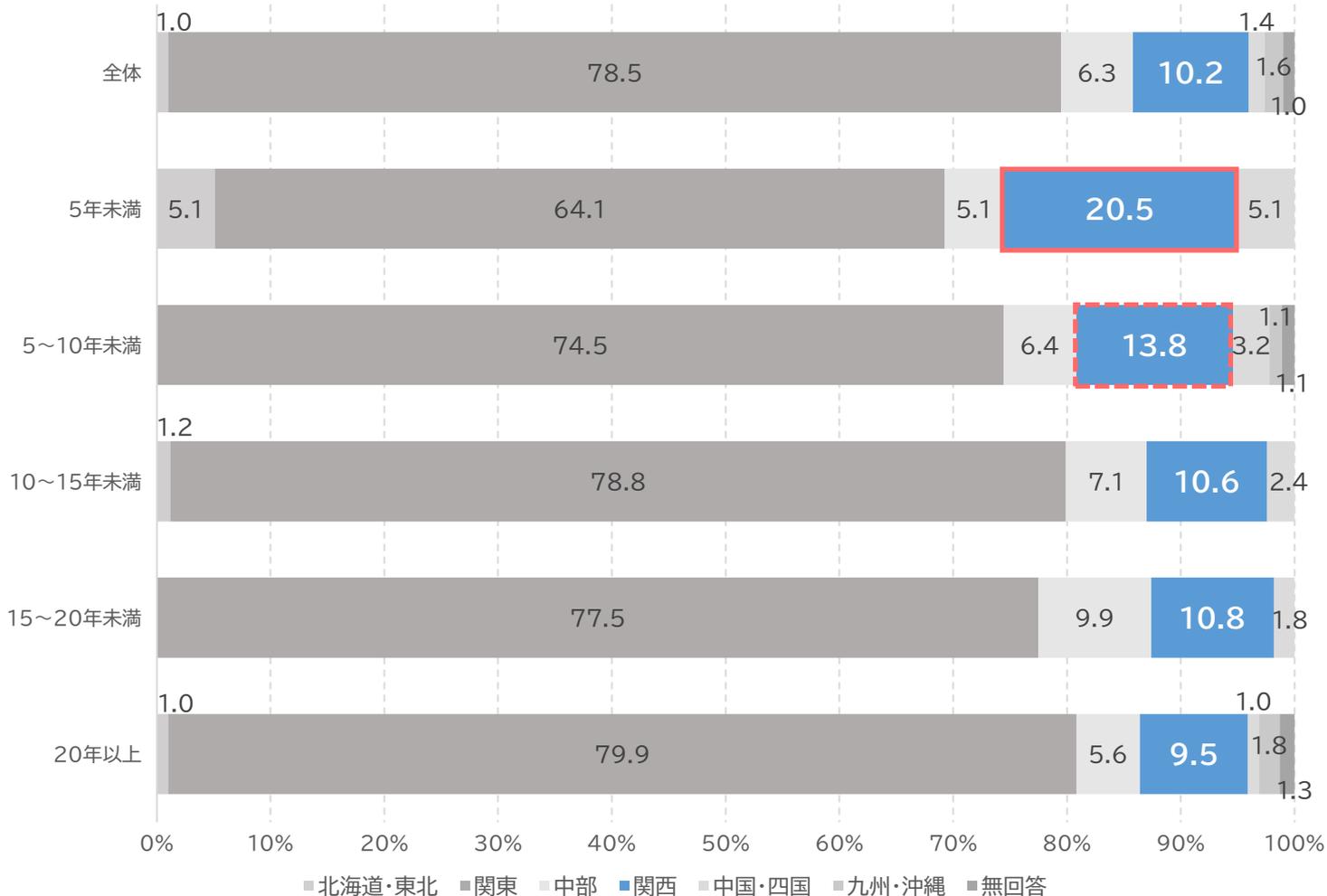
イノベーションをリードするスタートアップ・ベンチャーは、着実に増加。連合域内の大学発ベンチャー数は、国内シェア約2割と安定的に成長



## Figure-⑩ 産業集積（外資系企業）

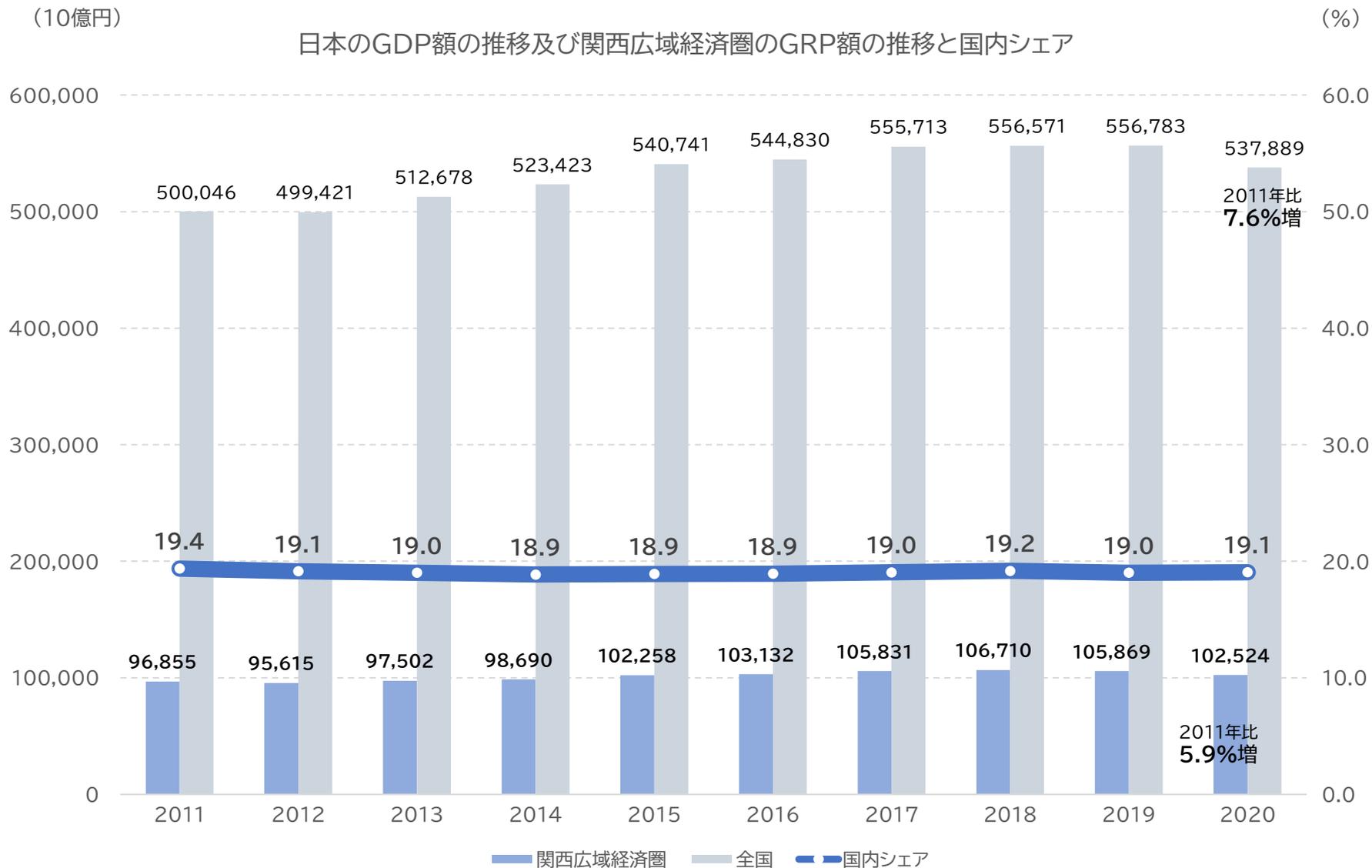
関西地方に本社を置く外資系企業の割合は、全体では約1割であるが、新規企業、特に設立5年未満では約2割。関西を「最初のチャレンジの場」として選択。

外国親会社業歴別にみた本社所在地



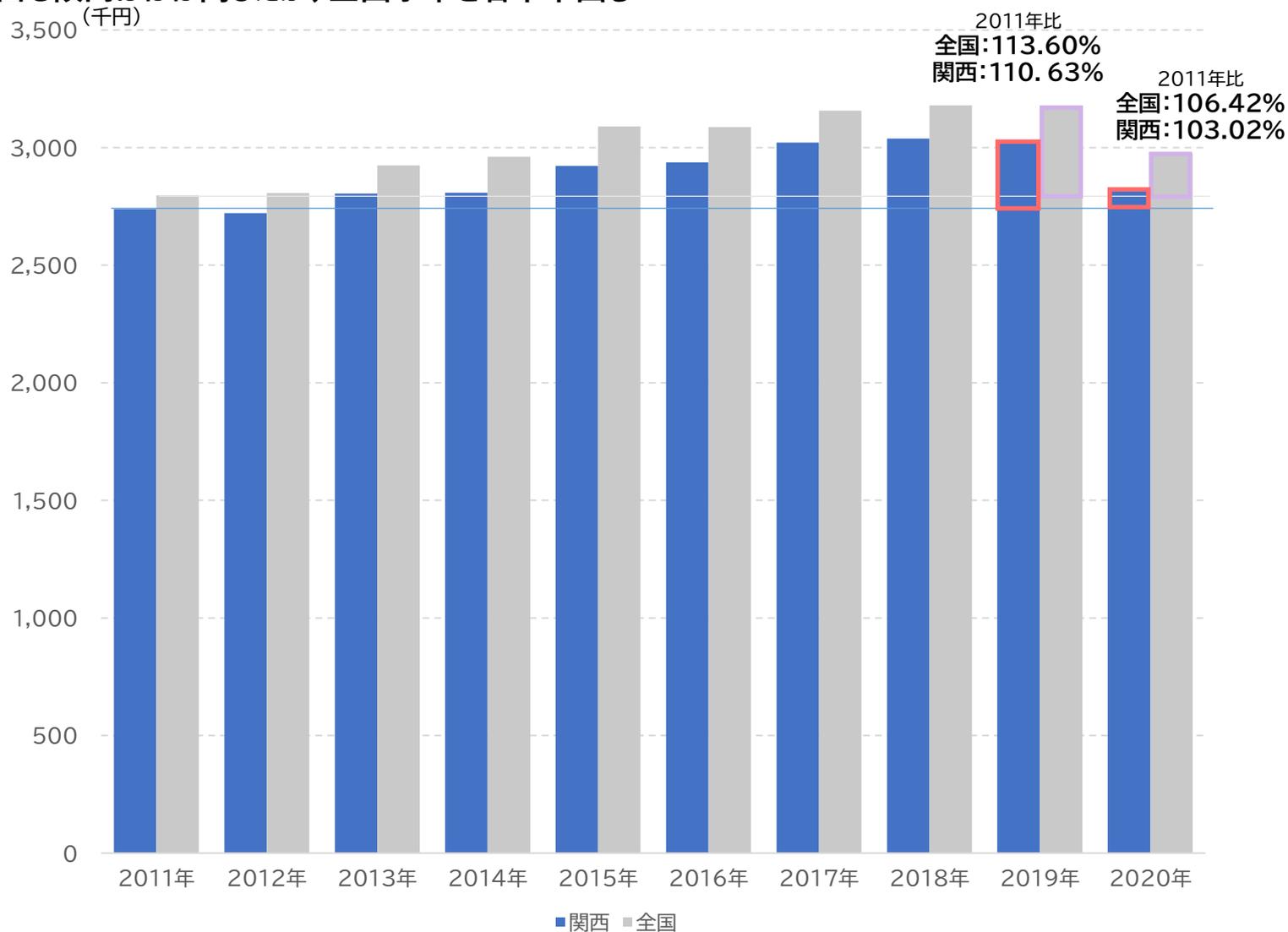
# Figure-⑪a GDP, GRP

この間、日本のGDPは伸び悩み。



## Figure-11b 一人あたり県民所得（増加率）

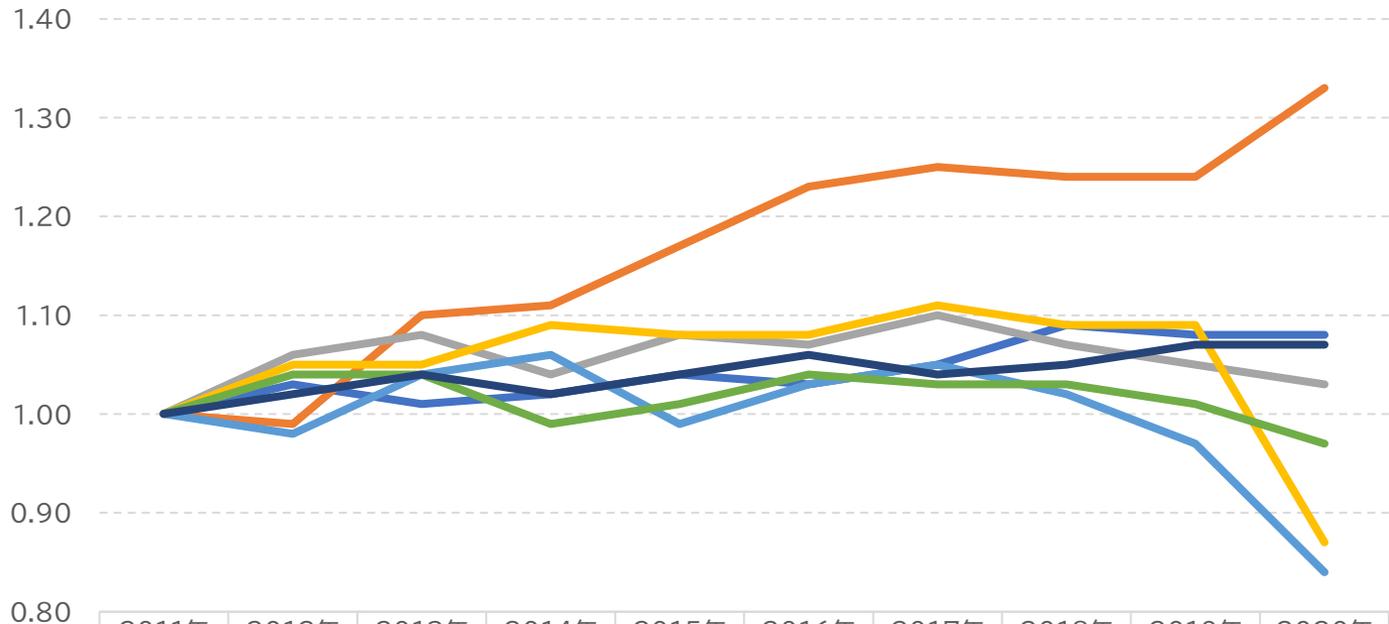
一人あたりの（都道府）県民所得（全国）は、2011年比で、2019年113.60%、2020年106.42%。  
関西も傾向はほぼ同じだが、全国水準を若干下回る



# Figure-12a 労働生産性（産業別推移）

産業別では、建設業を除き、総じて労働生産性は伸び悩み

産業別の労働生産性の推移

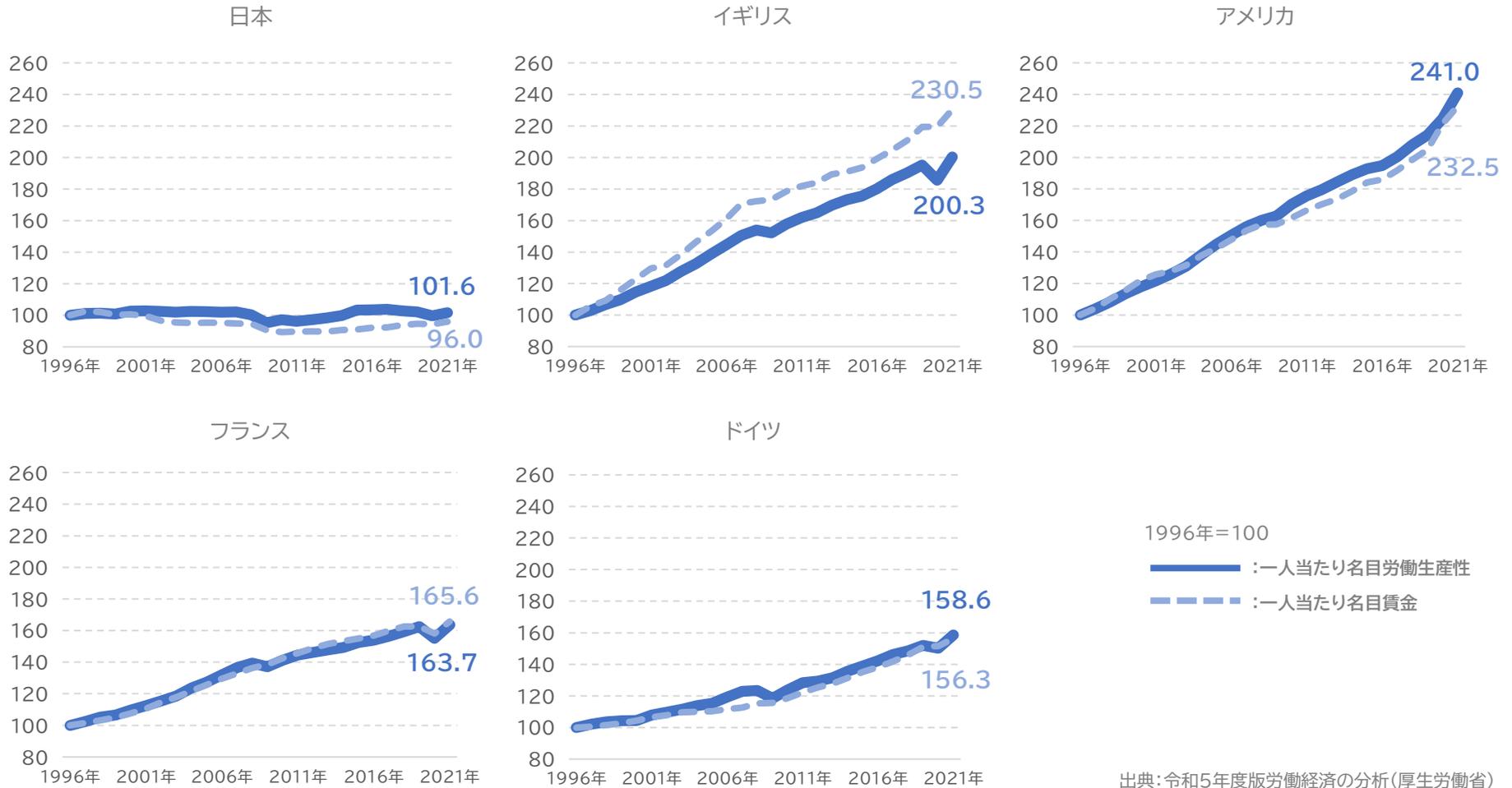


|                | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 製造業            | 1.00  | 1.03  | 1.01  | 1.02  | 1.04  | 1.03  | 1.05  | 1.09  | 1.08  | 1.08  |
| 建設業            | 1.00  | 0.99  | 1.10  | 1.11  | 1.17  | 1.23  | 1.25  | 1.24  | 1.24  | 1.33  |
| 卸売・小売業         | 1.00  | 1.06  | 1.08  | 1.04  | 1.08  | 1.07  | 1.10  | 1.07  | 1.05  | 1.03  |
| 運輸・郵便業         | 1.00  | 1.05  | 1.05  | 1.09  | 1.08  | 1.08  | 1.11  | 1.09  | 1.09  | 0.87  |
| 飲食・<br>宿泊サービス業 | 1.00  | 0.98  | 1.04  | 1.06  | 0.99  | 1.03  | 1.05  | 1.02  | 0.97  | 0.84  |
| 情報通信業          | 1.00  | 1.04  | 1.04  | 0.99  | 1.01  | 1.04  | 1.03  | 1.03  | 1.01  | 0.97  |
| 保健衛生・<br>社会事業  | 1.00  | 1.02  | 1.04  | 1.02  | 1.04  | 1.06  | 1.04  | 1.05  | 1.07  | 1.07  |

# Figure-12b 労働生産性（一人当たり国際比較）

我が国では名目労働生産性がほぼ横ばいの中で、名目賃金も伸びていない状況

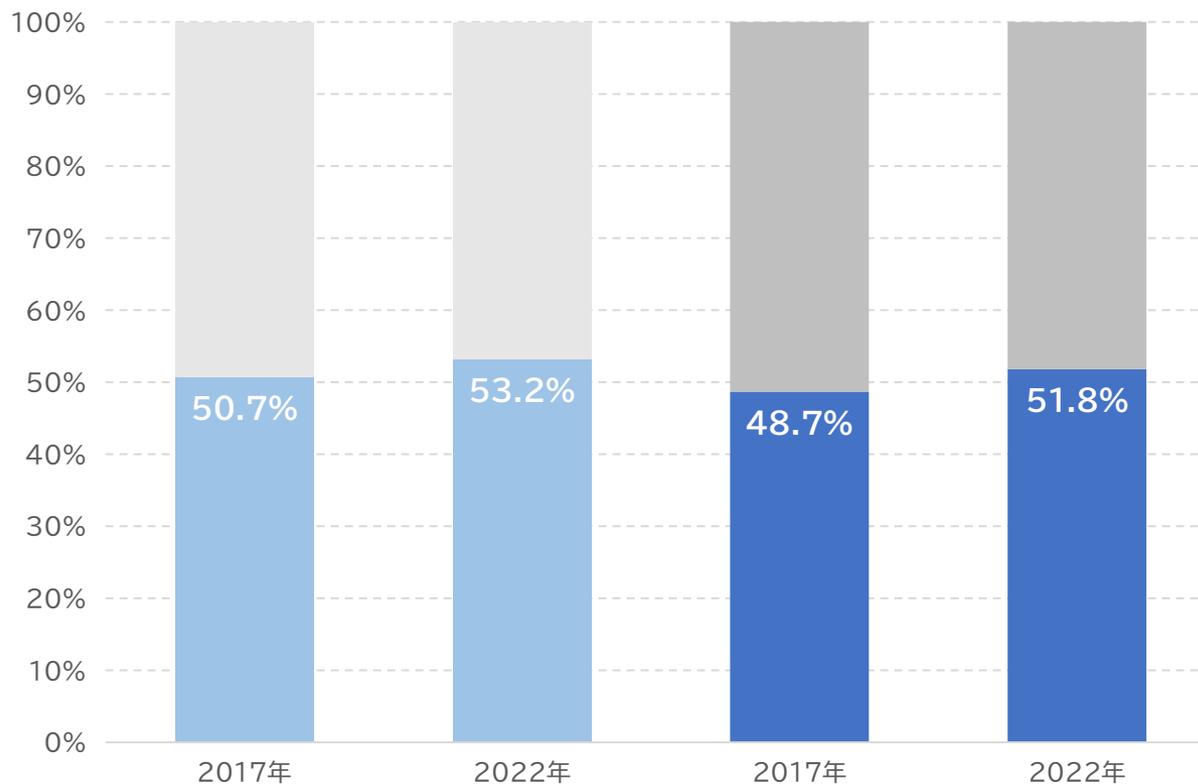
一人当たり名目労働生産性と名目賃金の国際比較



出典:令和5年度版労働経済の分析(厚生労働省)

## Figure-13 女性の有業率

人口減少局面で総数減少の中、女性の有業者数は増加。関西の女性の有業率（2022年）は全国を下回るが、関西における伸び率は、2017年比+3.1ポイントと、全国伸び率（+2.5ポイント）を上回る



全国  
▲373,400人  
+1,215,300人  
+2.5ポイント

総数  
有業者数  
有業率  
(対2017年比)

関西広域連合  
▲61,300人  
+287,500人  
+3.1ポイント

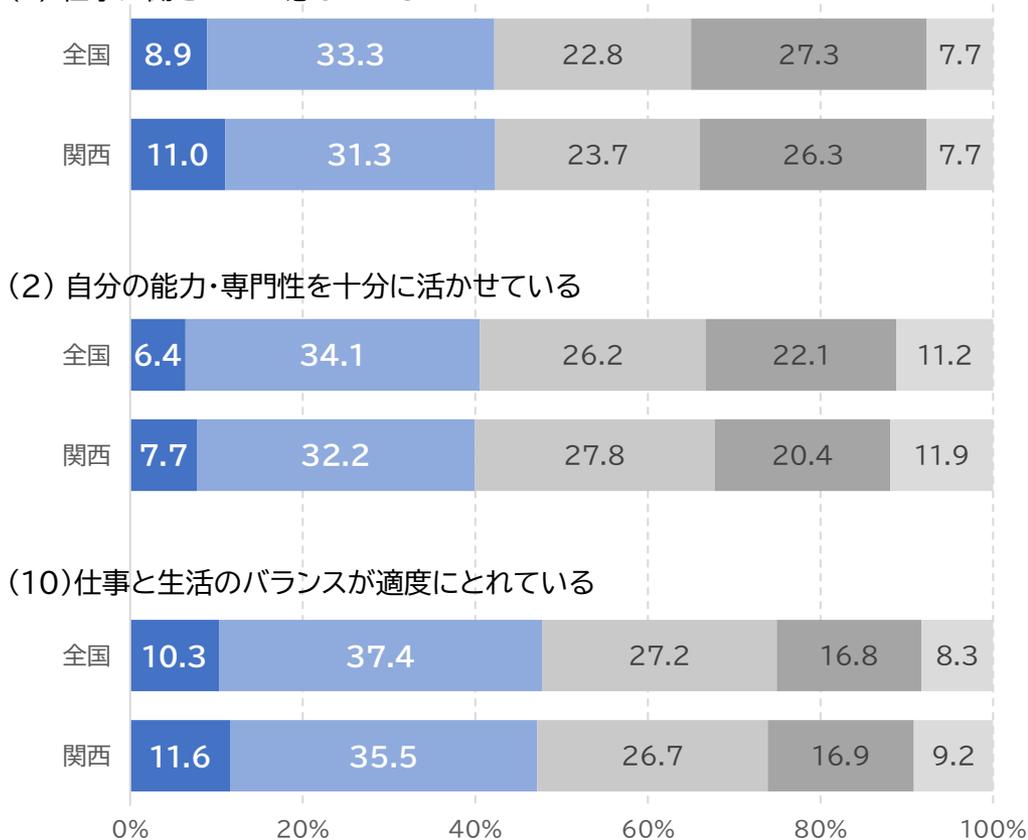
## Figure-14 働きがい、能力発揮、ワークライフバランス

今の勤め先での仕事について、「仕事に働きがいを感じている」、「自分の能力・専門性を十分に活かしている」、「仕事と生活のバランスが適度にとれている」と認識している者の割合は、ほぼ全国水準

あなたの今の仕事についてお聞きます。

(1) 仕事に働きがいを感じている

※関西圏（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）



- ①当てはまる
- ②どちらかという当てはまる
- ③どちらかという当てはまらない
- ④当てはまらない
- ⑤わからない

出典：「第46回勤労者短観調査」(勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート調査)  
公益財団法人 連合総合生活開発研究所(2023年10月)

## Figure-15 ダイバーシティ

従業員が自身の職場について「社員の個性や多様性を大切にしている」と思う割合（2022年）は、男性40.2%、女性44.6%。これらはほぼ全国水準（※近畿地方）

Q 社員の個性や多様性を大切にしている

